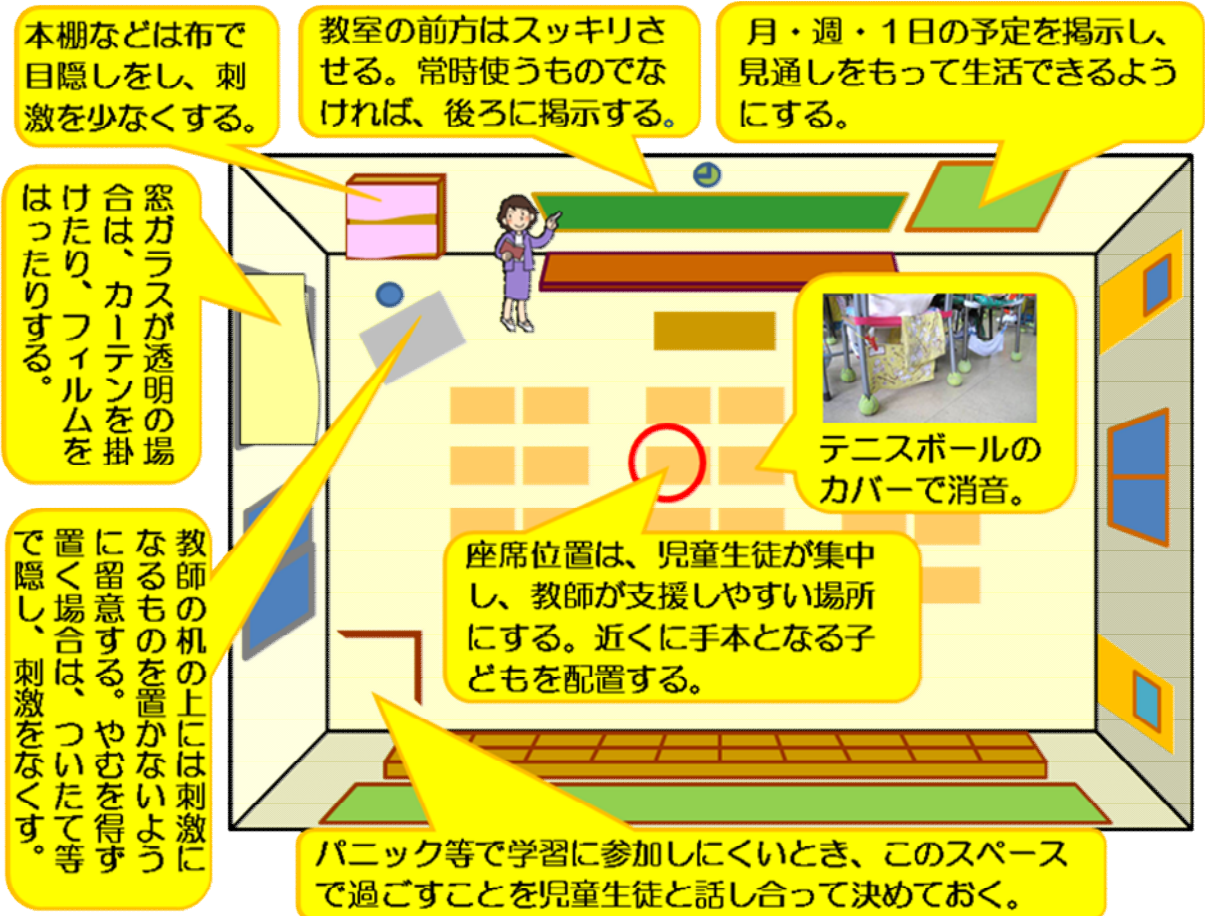
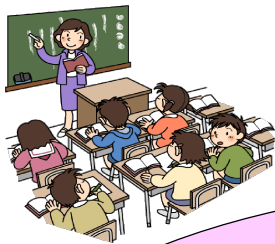


# 通常の学級での特別支援教育

～ユニバーサルな学級づくり・授業づくりを目指しましょう！～



## ユニバーサルな授業とは



【具体例】

- ＜事前＞ \* 学習態勢ができてきているかの確認  
\* 前時の学習内容が分かる掲示物の準備

本時の学習目標(めあて)や、学習課題を黒板に提示する。

\* 授業の流れを提示し、学習に見通しをもたせる

導入

\* 時間を明記すると、より見通しをもたせやすい

めあて 5/20

世界でいちばんやかましい音  
ベンジャミン・エルキン (P40)

音を表す言葉を手がかりに  
お話を三つの場面に分けよう。

- ① お話を聞く(5分)
- ② 音を表す言葉に線を引く(5分)
- ③ 場面わけを考える(30分)
- ④ まとめ(5分)

\* 板書した後、声に出して読む  
(視覚と聴覚の両面から)

児童・生徒一人一人の思考を基に学習を深め、課題を追究する。  
(発問を工夫したり、児童・生徒どうしの学び合いなど学習形態を工夫する)

展開

めあて 5/20

世界でいちばんやかましい音  
ベンジャミン・エルキン (P40)

音を表す言葉を手がかりに  
お話を三つの場面に分けよう。

板書の構造化

- ・ 板書内容を精選する(図式化)。
- ・ 内容により色を使い分けて示す。

視覚支援

- ・ 絵図の利用。
- ・ 例の提示。など

おわり

そとと すっと クワクワ

しずかな音を表す言葉

ピーツ

さわがしい音を表す言葉

クワクワツツ

ボタンボタン

クワクワツツ

- ① お話を聞く(5分)
- ② 音を表す言葉に線を引く(5分)
- ③ 場面わけを考える(30分)
- ④ まとめ(5分)

本時のねらいが達成できているか、全員の状況を把握する。  
(不十分であれば補充する。達成していれば発展内容に取り組みさせる)

まとめ

本時のまとめをする。  
次時の予告をする。(内容・めあて等)

次の時間の準備をしてから休み時間

めあて 5/20

世界でいちばんやかましい音  
ベンジャミン・エルキン (P40)

音を表す言葉を手がかりに  
お話を三つの場面に分けよう。

めあて

世界で一番やかましい音の話題の前

世界で一番やかましい音を聞くまで

しずけさを知った後

おわり

そとと すっと クワクワ

しずかな音を表す言葉

ピーツ

さわがしい音を表す言葉

クワクワツツ

ボタンボタン

クワクワツツ

まとめ

「はじめ」「なか」「おわり」に分けられる  
「はじめ」「はさわがしいイメージ」  
「おわり」「はしずかなイメージ」

- ① お話を聞く(5分)
- ② 音を表す言葉に線を引く(5分)
- ③ 場面わけを考える(30分)
- ④ まとめ(5分)

「めあて」に対する「まとめ」  
・ この1時間で学んだことを再確認する。

### 児童生徒へのユニバーサルな対応

- \* 問題行動をなくすことより適応行動を増やす。(良いほうを膨らませる)
- \* こだわりや興味関心を活かす。(子どもの土俵で相撲をとる)
- \* 口頭注意ばかりせず、振る舞い方を教える。(モデルを見せる)
- \* やってほしいことは、視覚的・具体的・肯定的に示す。
- \* 見通しを持たせる。(予告・リハーサル・スケジュールを示す 等)
- \* よけいな刺激を制限&遮断する。(学習環境を整える)
- \* 苦手なことには選択肢を与えたり、スモールステップで指導する。  
(成功体験や達成感を積み重ねる)
- \* 叱る前にまずは受け入れ&受け止める。



#### ◎自分の「よさ」に気づく力を育てましょう!

- \* 「よさ」「得意な面」をほめて気づかせる。
- \* よい振る舞いを教え、できたらすぐほめる。
- \* 失敗があっても人格まで否定しない。

#### ◎困った時に助けを求める力を育てましょう!

- \* 困った時の対処法を一緒に考える。
- \* 人に助けを求める力を育てる。
- \* 助けてもらって感謝することを教える。

#### 参考資料

- ・ 特別支援教育学校コーディネーターサポートブック  
～伝え合い・響きあいながら～ 小中学校編
- ・ 特別支援教育の理解Q & A  
特別な教育的支援を必要とする子どもたち  
—LD・ADHD・高機能自閉症の理解と支援—